

一年間のご愛読
ありがとうございました！

夢通信

平成18年12月号

夢をつなぐ 心をつなぐ 世界をむすぶ
きぬがわ せいさ こうぎょう



衣川製鎖工業株式会社

佐川 寛介

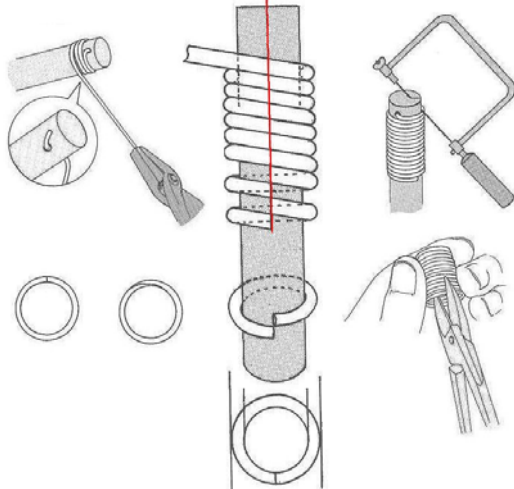


『兵庫鎖を作る』

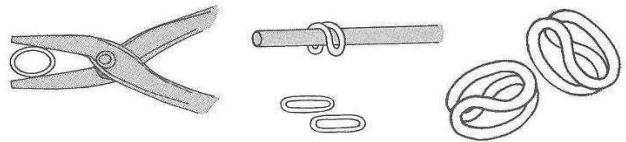
金の耳飾は鎖で繋がっています。こんな形状の鎖を兵庫鎖といい英語ではループ イン ループ チェーン (Loop in Loop Chain) と呼ばれています。子供の時、輪ゴムを繋いで長くした経験をお持ちの方も多いたと思いますが、それと同様の方法です。まず、輪を作り楕円にし、部品を完成させ、つなぐのです。鎖には銀を主体にした金銀の合金が使われています。表面に水銀 (Hg) を検出することから、金めっきが施されたのかも知れません。

この方法は、現在我々が使っている丸環づくりの一つ『ばね巻』と全く同じです。

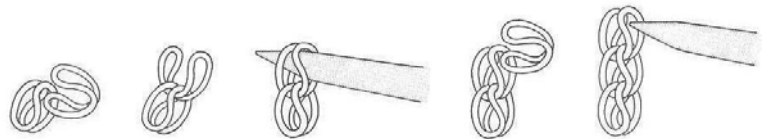
輪を作る



部品を完成させる



部品をつなぐ



- ① 必要な輪の大きさに合わせて木や竹の棒に準備した針金を巻きつける。
- ② 針金の輪を切り離し1コマ分の誤差を修正する。
- ③ 切断面をろうづけする。
- ④ 丸い輪を仕上げる。



各種の金属と技術

宮山古墳からは、銅鏡・金の耳飾・銀貼の環頭太刀・金めっきに使ったと思われる水銀・鉄製の刀剣・農具・工具など各種の金属が出土しました。

金属精錬技術・合金製造技術・鑄造技術・鍛造技術・鍛接する技術・ろうづけ技術・針金を作る技術・鋳留め技術・板金技術・彫金技術・象嵌技術など進んだ技術が結集しています。その他にも製陶技術(土師器・須恵器)・木工技術・玉づくり技術・ガラス製造技術や石積み技術など、現在にも通用する高度な技術があったことに感心しました。

わが国での製鉄は古墳時代に始まると言われています。なるほど、古墳を築くほどの権力が無ければ大規模な製鉄は出来ないと思いましたが、しかし、それ以前に小規模な製鉄が無かったとは言えません。

参考資料

宮山古墳展 図録	姫路市埋蔵文化財センター	2005年
秘められた黄金の世紀展 図録	京都府京都文化博物館	2004年

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>
ryou@memenet.or.jp

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください！！